



広島県指定自動車学校協会専務理事

中田 勇

このたび、広島県協会の専務理事に選任されました中田勇です。

よろしく願いいたします。

コロナ禍における、蔓延防止対策、教習方法の見直し、若者の車離れ、高齢運転者の増加に伴う各種対策等、自動車教習所を取り巻く経営環境は益々悪化しております。そうした中でも、各自動車教習所が知恵をしぼり、最善の努力を講じておられますことに、敬意を表するしだいです。

自動車教習所は、初心運転者教育をはじめ、各種の運転者教育の実施機関であり、また、地域における交通安全教育センターとしての役割を担っております。現代の地域社会にとって欠かすことの出来ない機関であり、このような機関で一役を担えることを幸せに感じるとともに、皆様の環境改善に全力で取り組んでいく所存であります。

ここで、少し自己紹介をさせていただきます。

私は、昭和36年3月に呉市阿賀町という漁師町で3人兄弟の次男として生まれました。阿賀町といえば「仁義なき戦い」や「最後の博徒」発生の地として有名で、あまり土地柄としては良いとは言えませんが、悪友にかこまれて、高校卒業までは地元で暮らしました。

高校を卒業後は、海上自衛官として約3年横須賀で勤務しました。昭和57年10月に広島県警察の巡査を拝命し、今春、定年退職して当協会でお世話になることとなりました。

私の座右の銘といいますか、モットーは「誠実」であります。そこで、「誠実」について少し話してみたいと思います。

「誠実」とは、私利私欲を交えず、真心をもって人や物事に対することです。これを実践することは、口で言うほど簡単ではありません。人は

皆、他から認められたいとか褒められたいとか、出世したいなど、私利私欲はあるものです。その欲求が必ずしも悪い訳ではありませんが、その欲求が強すぎたり、調子に乗りすぎると必ず足をすくわれます。私も幾度となく足をすくわれる経験をしてきました。

それらの経験を思い出してみると、仕事やプライベートが順調で、調子に乗りすぎ、天狗になっていたとき足をすくわれたように思います。

専務理事に就任して、まだ数ヶ月しか勤務しておりませんが、徐々に慣れて天狗になるやもしれません。そんな時は、足をすくうのではなく、「調子に乗ってないか?」と一声掛けていただければ幸いです。どうかよろしく願いいたします。

